

青少年相談員会報

令和2年9月15日発行

第91号

さ き が け

発行 水戸市青少年相談員連絡協議会（事務局 水戸市教育委員会事務局教育部生涯学習課 ☎029-306-8692）



水戸城大手門

青少年を取り巻く環境の変化

水戸市教育委員会事務局教育部生涯学習課

課長 野澤 昌 永



昨年4月より生涯学習課長として就任いたしました。よろしくお願ひいたします。

近年の青少年を取り巻く環境につきましては、青少年のインターネット利用の低年齢化も進み、内閣府の「青少年のインターネット利用環境実態調査」によると小学生の約50%はスマートフォンを所持している状況にあります。昨年はオンラインゲームで知り合った人に小学生が誘拐されるなどの事件もあり、SNSやオンラインゲームのチャット機能などによりトラブルや事件に巻き込まれるという件数は年々増加傾向にあります。

さらに、今年度は新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、日常と違う時間が長く続いています。通常の生活との違いに戸惑いを感じ、外出自粛による限られた生活空間でのストレスがたまり、ニュースなどから伝わるさまざまな情報に不安や恐怖、心配を感じている子どもたちもいることと思います。楽しみにしていたであろう学校行事なども次々に中止が決定し、このような状況の中では、いつもと異なる反応や行動を見せることがあります。そうした子どもの様子に気づき、適切に対応するためには、街頭での声かけをとおして青少年に寄り添う、青少年相談員皆様のお力添えが極めて重要なものと認識しております。

今後とも青少年相談員の皆様方におかれましては、街頭補導や社会環境向上活動など、青少年の健全育成のための活動にご支援とご協力のほどよろしくお願ひいたします。

【事業計画】

実施時期	事業名
5月	定期総会（書面開催）
	第1回役員会（書面開催）
7月	第2回役員会
	各地区情報交換会及び研修会（市共催事業）
9月	第3回役員会
	会報「さきがけ」91号発行
11月	青少年相談員視察研修（市共催事業）
	第4回役員会
1月	第5回役員会
2月	青少年相談員実務研修会（市共催事業）
	各地区情報交換会及び研修会（市共催事業）
3月	会報「さきがけ」92号発行
	第6回役員会

定期総会

令和2年度の定期総会につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、書面開催とさせていただきます。

その結果、第1号議案から第4号議案までの全ての議案について、過半数の賛成をもって可決されました。

皆様におかれましては、本年度の総会における書面での議決にご協力いただきありがとうございました。

令和2年度水戸市青少年相談員連絡協議会定期総会 議決結果

議案番号	議案	賛成	反対
第1号議案	令和元年度事業報告について	191名	0名
第2号議案	令和元年度決算報告及び監査報告について	191名	0名
第3号議案	令和2年度事業計画(案)について	191名	0名
第4号議案	令和2年度予算(案)について	191名	0名

我が学校の新しい生活様式

◆第一中学校

指導主事

春田 友則

5月後半の分散登校を経て、6月から本格的に学校生活が始まりましたが、新型コロナウイルス感染症予防のため、学校での生活様式には大きな変化がありました。



まず、登校時には、全生徒に対して検温チェックを行っています。教室においては、隣の席と距離を取った座席配置や、密集した形でグループ活動を行わないような配慮がされています。美術科では、作業机にビニールカーテンを設置し、対面する生徒同士の飛沫感染を防ぐための工夫をしています。給食では、複数の生徒が食器に触れないように、担任と限られた生徒のみで配膳を行い、配膳された給食を取りに来る際も、列ごとに密にならないような方法を採用しています。部活動では、それぞれの部において、3密を避けるなどの配慮を十分行った上で再開しましたが、夏の暑い時期には、熱中症にも気を付けながら活動する必要があります。厳しい状況が続いています。

また、新型コロナウイルス感染症に起因した「いじめ」が決して起こることがないように、学校生活での様々

な場面において、生徒たちが感染症に関する正しい知識と理解を得ることができるような指導を継続して行っています。

◆双葉台小学校

校長

稲野辺 秀久

双葉台小学校では、子どもたちが安全・安心な学校生活を送ることができるように、新型コロナウイルス感染症の予防に向けて様々な工夫を行っています。

○教室では、机を離し、ソーシャルディスタンスをとって学習しています。常時、窓を開け、サーキュレーターを外に向けて回すことで、換気を促しています。また、熱中症対策として、窓を開けたままエアコンをかけています。

○手洗いをする時も、間隔をとって並ぶことで密を防いでいます。廊下には、自然に間隔がとれるように動物の足跡が貼られています。

○給食は、担任が中心となって配膳しています。食事中は、全員が前を向いておしゃべりをせずに食べています。食べ終わったら、すぐにマスクをしています。

このような生活様式のもと、ふたばっ子は、毎日を元気に過ごしています。



地区定例会及び研修会

◇◇一中地区◇◇

池田 清美

8月5日に千波市民センターにて、13名の参加者を迎え、第1回一中地区定例会及び情報交換会を開催しました。

まず補導の際に気づいたこととして、水戸駅ペDESTロリアンデッキでの少年たちのスケートボードの行為が挙げられました。迷惑だけでなく、重傷を負う事故が起きていることをもっと注意喚起しては、との意見がありました。

またこのコロナ禍の中、中小高の先生方が何とか子どもたちの安全を守り、何もかも中止にするのではなく少しでも楽しめる思い出に残る学校生活を！と考慮



してくださっているお姿に深く感銘を受けました。そして、どうか子どもたちもこの大変な状況に負けないで貴重な体験として乗り越え、成長して欲しいと思います。

◇◇緑岡中地区◇◇

茂垣 惠美子

7月3日に笠原市民センターにて、参加者14名を迎え、第1回緑岡中地区定例会及び情報交換会を行いました。

新型コロナウイルス感染症の拡大により、今まで経験した事のない家庭生活や学校生活における子どもたちの様子や、地区補導で気づいた事などをお話して頂きました。

緑岡小学区で不審者が出たり、寿小学区でも不審車両の目撃情報等があり、地区補導にもっと力を入れた方が良いのではないかとのお話がありました。



防犯やスクールガードの方だけではなく、地域全体で子どもたちを見守り、犯罪を未然に防いでいく事が大切であると強く感じました。

皆さんご協力有り難うございました。

◇◇赤塚中地区◇◇

大森 ますみ

7月29日に上中妻市民センターにて、参加者11名を迎え、第1回赤塚中地区定例会及び情報交換会を開催しました。

先生方からは、新型コロナウイルス感染症の影響による学校生活の大きな変化として、手洗い、消毒、マスクの着用、検温などを毎日行うという話を聞き、子どもたちはもちろん対応する先生方が、今までは考えられない大変な生活をしていることが伝わりました。

また、学校行事の縮小や船中泊、修学旅行の中止など子どもたちの思い出作りの機会さえも奪う新型コロナウイルス感



染症の一日も早い終息を願うばかりです。私たちも街頭補導を継続して行っていますが、こんな時こそ笑顔での声かけを心がけたいと思います。



新人相談員の声



青少年相談員になって

一中地区 岩井 真弓

今年度はコロナ禍で新任研修会が中止となり、不安な気持ちが拭えないまま、初めての中央補導に参加しました。

先輩相談員の方々と話ししながら歩くうちに不安は和らぎましたが、駅前で喫煙する高校生と出会った時は緊張が高まりました。夕方の人通りが多い時間にも関わらず、人目の付きにくい場所があることにも驚かされました。

その後巡った場所では何事もありませんでしたが、黄色い腕章をつけた私達に気づいた子どもたちは多かったと思います。監視されていると感じた子もいたかと思いますが、「大人達はいつでも見守っているよ」という気持ちで、今後の活動にも参加していこうと思えました。

地道な活動で

子どもたちを見守る

緑岡中地区 林 由香里

今年度青少年相談員になり思っ

たことは、とても多くの方が相談員として活動されており、また皆さん長く頑張っているらしいです。

水戸駅周辺の補導に参加しましたが、平日の午前中ということ子どもたちは見かけず、特に問題らしきことはありませんでした。補導活動をしなから「駅近くでスケーボーをする子がいる」など、いろいろな話を聞いた交流ができて良かったです。

今年度は新型コロナウイルス感染の問題により、子どもたちの行動もまた変わっていきように思います。青少年相談員の活動は地道な活動ですが、続けるというところが大事と感じています。地道な努力を皆さんと一緒に頑張っていきたいと思えます。



補導活動に参加して

常澄中地区 木名瀬 絹江

青少年相談員となって初めての活動は、コロナ禍で長い長い休校期間中の中央補導、前を歩く先輩方について行く事で精一杯。次は学校再開後の地区補導。風雨が酷い中での見まわり。健脚である事は必須だと感じました。

また、子どもたちの集う場所や好んで利用する店、通る道などの情報は地域の方から教えていただく事、他、自分の目で確認、その上地区を歩く事で相談員間で共有できる確かな情報となる事も分かりました。

ある方が、黄色の腕章を身に付けて見守り、見回る事も大切、だけれどそれ以上に、話を聴く、声かけをする事も大切なよ、と。あくまでもさりげなくが肝要とも。相手を尊重し、相手の為に聴く、心を傾け傾聴する姿勢を心に留めて青少年の健全育成の一助となれますよう、活動してまいりたいと思っております。



事務局職員紹介

事務局職員について、令和2年度は次のとおりです。

水戸市教育委員会事務局教育部生涯学習課	課長	野澤 昌永
	課長補佐	所畑 智美
	青少年育成係長	鎌田 洸一
	担当	岡崎 壮汰

〒310-8610 水戸市中央1-4-1
水戸市役所 3階
電話：029-306-8692 (直通)
FAX：029-306-8693
Eメール：seisyounen@city.mito.lg.jp

編集後記

広報部会では、「さきがけ91号」を発行するにあたり話し合いをしました。例年通りの行事や事業が無くどうしたものかと。そこで、「新しい生活様式」に取り組んでいる学校の様子を載せてはとの意見があり、先生方にご依頼をして発行する事が出来ました。

そして、先生方の新型コロナウイルス感染症に対しての徹底した除菌作業には、頭が下がります。私たちも、「新しい生活様式」を守りながら子どもたちに声かけをしたいと思えます。

本当にお忙しい中、原稿をお寄せくださった皆様には心より感謝申し上げます。(齊藤)